

**令和 5 年度 上田電鉄(株)生活交通改善事業変更計画
(鉄道軌道安全輸送設備等整備事業)**

別所線活性化協議会

令和 6 年 2 月 2 6 日

(国 令和 5 年度補正予算に係る書面協議)

1. 事業の目的・必要性

上田電鉄別所線は生活に密着した公共交通機関であり、観光を軸とした産業面や地域規模での対応が必要な環境面、更には文化的・教育的側面においても重要な交通機関である。

一方、開業 100 年となる線路施設は、施設全体の老朽化が進んでいる。特に、レールや枕木等の線路設備、橋梁等土木構造物、踏切保安設備は、安全輸送に直結する根幹的な設備であり、高い安全性が求められている。そのため、これらの改修、更新を行い輸送の安全確保を図る。

本計画は令和 6 年度事業計画の内、下記事業（赤字）の国庫補助について令和 5 年度補正予算で措置されることとなったため変更をおこなうものである。なお、工事自体は来年度へ繰り越し、令和 6 年度の実施とする。

赤字：計画変更内容

① 橋脚補強

P 1～P 3 橋脚において、P 4 橋脚と同様に基礎拡幅による補強工事を計画、今年度は P 3 橋脚について工事を実施する。

② 車両定期検査

実施基準に基づき、車両の 8 年毎の定期全般検査（1 編成 2 両）を実施する。

2. 事業の定量的な目標及び効果

経常赤字を生じている中、地域公共交通確保維持改善事業費補助制度を活用し、老朽化した鉄道施設の改修・更新を行うことにより、輸送の安全・安定性の維持向上を図る。

令和 5 年度輸送人員目標は、令和 4 年度比 7.7% 増の 1,041 千人とする。

3. 事業計画および概要

(1) 事業の内容

別添のとおり

(2) 当該事業を実施する事業者

上田電鉄株式会社

4. 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

令和 5 年度事業費 (当 初) : 270,500 千円

負担額	国	(当 初) :	90,166 千円 (負担割合 1/3)
	長野県	(当 初) :	45,083 千円 (負担割合 1/6)
	上田市	(当 初) :	135,249 千円 (負担割合 1/6+1/3)
	上田電鉄	:	1 千円

令和 5 年度事業費 (補 正) : 7,434 千円

負担額	国	(補 正) :	1,858 千円 (負担割合 1/4)
	長野県	:	1,239 千円 (負担割合 1/6)
	上田市	:	4,336 千円 (負担割合 国、県の補助額を減じた額)
	上田電鉄	:	1 千円
(長野県・上田市については R 6 当初予算予定)			

5. 協議会の開催状況と主な議論

別所線再生支援協議会

- ・ 令和2年5月25日（第18回） 令和2年度事業計画についての協議（書面）
- ・ 令和3年6月14日（第19回） 令和3年度事業計画についての協議（書面）
- ・ 令和4年3月22日（第20回） 令和3年度補正計画についての協議（書面）

別所線活性化協議会

- ・ 令和4年5月27日（第1回） 令和4年度事業計画についての協議（会議）
- ・ 令和5年2月20日（第2回） 令和4年度補正計画についての協議（書面）
- ・ 令和5年4月28日（第3回） 令和5年度事業計画についての協議（会議）
- ・ 令和6年2月26日（第4回） 令和5年度補正計画についての協議（書面）

（協議会の構成）

国	北陸信越運輸局
関係都道府県・市区町村	長野県・上田市
関係交通事業者	東日本旅客鉄道(株)・しなの鉄道(株)・千曲バス(株) 上田バス(株)・長野県タクシー協会・上田電鉄(株)
その他	上田警察署・塩田地区自治連会・別所温泉観光協会・ 別所温泉旅館組合・別所線の将来を考える会・ 上田商工会議所・信州上田観光協会・上田市社会福祉協議会・ 上小高等学校校長会・長野大学・上田女子短期大学